

私たちの

なみえ町議会

あなたと町政をおすぶ
ぎかい広報紙

○発行/福島県浪江町議会
○編集/議会報編集特別委員会

2004・5・1
No.
104



バスモス号
乗車オーライ



3月定例会

平成16年度 予算審議・決定

視点・論点	全小学校区に放課後児童クラブ設置	8
一般質問	9～21

一般会計

安心して住める浪江町 町民参加の町づくりプロジェクト

予算総額を139億6200万円に決定

予算に対する
おもな
質疑

町民参加と
これからの町づくり

町村合併と町民
アンケートは

質問

浪江・小高合併が不調に終わったという段階を経て、浪江町の合併の見通しは。

町長

1月16日の町村会で8ヶ町村ということで方向を確認したところです。

質問

一歩踏み込んだ町村との勉強会か。

町長

これから実施するアンケートの答えや各町村の動きも十

二分に勘案しながら、特例法の期限にこだわらず、合併の是非も含めて慎重に進めていきたい。

機構改革と
行政効果は

質問

機構改革などの方向付けは。

町長

行政改革は、合併の是非によらず進めていかなければならない。機構改革は16年度当初から検討を進め、町民のご意見も取り入れ実施したい。

町の財政と長期総合計画の作成は

質問

16年度の基金残高の見通しは。

課長

現在の基金総額は26億7000万円です。16年度末では5億9000万円減の20億8000万円の予定です。

質問

国の三位一体の改革で地方交付税など町として3億2400万円の減少。国庫補助、負担金も削減されている。それに見合う国の財源移譲はいくらになっているのか。

予算に対する
おもな
質疑

資源循環型社会と
観光、産業振興の町づくり

ごみ減量の対策は

質問

双葉地方広域圏組合負担金が2億9100万円。前年より下回る対策は。

課長

分別収集・生ごみの自家処

課長

浪江町の実態を計算したところ、7166万円の国庫補助、負担金の減額に対し、52.8%（3784万円）しかされておられません。

質問

長期総合計画はいつまで策定するのか、町村合併のアンケートの時期は。

課長

計画年数は10年で、17年度前半までに策定したいと考えています。

町長

合併の問題も併せてアンケートを考えております。6月議会に補正措置をしたい。

課長

ISOの成果は。事務用品、電気、ガソリン、灯油などの節約で14年度は166万円減りました。

質問

理推進などのために、公民館学級、婦人会、行政区での説明会を数多く開催する考えです。

ISO家庭版で ごみの減量を

町内でISOに取り組みれば
広域圏組合負担も減るのでは
ないか。エコクラブの立ち上
げなど学校、地域でも考えて
いただきたい。

堆肥センターの 総事業費と今後の 運営は

質問
公設民営か。

課長

自主運営を図る関係上、民
設民営が適当であると考えて
おります。

質問
国・県・町の補助9986

万円が計上されている。利用
組合の1割負担を合わせた総
事業費が1億763万円では
全体で300万円が多くな
る。なぜか。

課長

設計委託料と道路工事費
300万円を含めた額であり
ます。

観光行政の 進め方は

質問

観光協会が設立されます
が、主に何を進められるのか。

町長

今後皆さんの意見を基にし
て、観光協会、庁内の組織を
フル回転させ、方向づけをし
てまいります。

行政区への助成 減額と今後の支 援は

質問

地域づくり支援事業が昨年
度の455万円から200万
円に減額された。助成事業の
評価が変わったのか。

町長・課長

事業の成果が地区によつて
差が見られるため。今後は複
数の行政区が共同で事業を行
うなど効率的なものにしたい
というのが改正の趣旨です。
意欲的な申請があれば、補
正対応します。

を改正。
複数の書類による一貫性
の確認と家庭状況の聞き取
りなどの対策を講じており
ます。

予算に対する おもな 質疑

住民の安全と 行政区支援の町づくり

住基カードの不正 取得の歯止めは

質問

不正取得が現実に発生した。
防御策は。

課長

従来 of 郵送により本人照会

有害鳥獣駆除事 業の補助改善は

質問

活動の実態に見合った補助
金支出と許可交付の改善はで
きないのか。

課長

出動状況に見合った使い方
をされるよう指導してまいり
ます。早く許可が出せるよう
に努力します。

質問

サルの被害が広がって

る。対策は。

課長

捕獲わな・センサーの設置
など情報を収集し、研究させ
ていただきます。

予算に対する おもな 質疑

国際的に視野をもった 子供たちの成長を —教育と福祉の町づくり—

外国青年の語学 指導の成果は

質問

外国青年招致事業による語
学指導の必要性と成果は。

教育長

英国とアメリカから外国青
年を2人招致しております。
今年の9月から小学校にも配
置をして、総合学習の時間に
英語に親しむ機会を与えてお
ります。

軽度発達障害児な どの支援体制は

質問

軽度発達障害教育の支援体
制は。

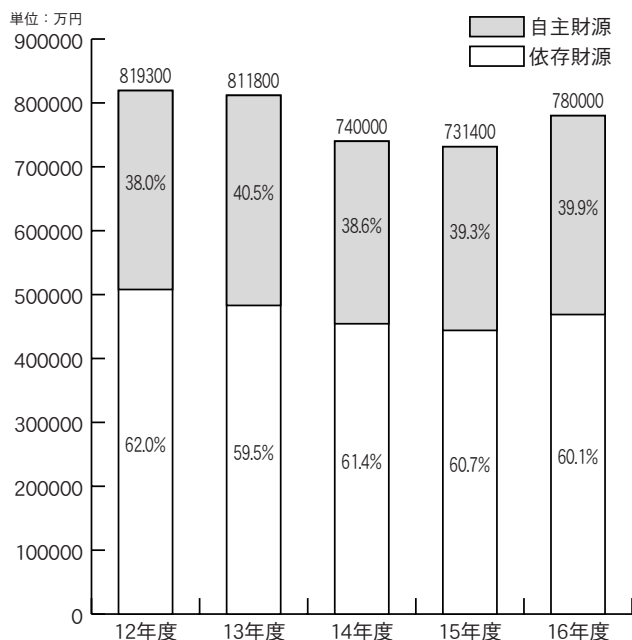
教育長

特別支援教育コーデ
ィネーターを各校に1名。規模
の大きい学校には校内検討
委員会を立ち上げる考えで
す。今年 is 夏休みに2日間
とつて全教員に研修してい
ただく考えです。

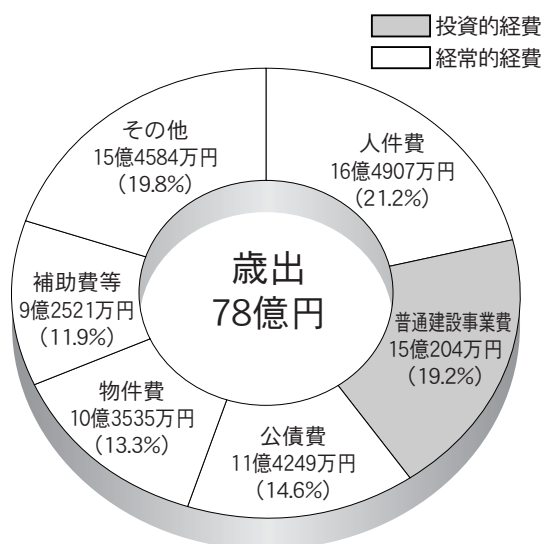
課長

ひとり親世帯数と、その医
療費の利用実態は。
登録数は、母子世帯が14
0世帯、父子世帯が1世帯。

一般会計当初予算と 自主・依存財源の推移



一般会計性質別構成



1人あたり納める税金
8万3520円

1人あたりに使われるお金
35万2144円

主な 自主財源

- 町 税金
- 分担金及び負担金 料
- 使用料及び手数料 入
- 財産収 入金
- 繰入 金
- 諸収 入

国県依存財源

- 地方譲与 税金
- 地方消費税交付 金
- 地方交付 税金
- 国庫支出 金
- 県支 出 金
- 町 債

平成16年度 主な事業

- 原子力広報安全対策交付金事業
- 合併調査推進事業
- 支援費（施設・居宅）
- 介護予防・生活支援事業
- シルバー人材センター補助金
- 特別養護老人ホーム（オンフル双葉）増築補助金
- なみえe-まちタクシーぐるりんこ運営補助金
- 児童手当
- 放課後児童健全育成事業費
- 老人保健健診委託事業
- 合併処理浄化槽設置整備事業
- 緊急地域雇用特別事業費
- 耕畜連携・資源循環総合対策事業費（堆肥センター）
- 中山間地域等直接支払事業
- 請戸漁港修築事業負担金
- 浪江町観光協会補助金
- 道路新設改良費
- 浪江小学校大規模改修事業
- ふれあい教室

特別会計

主な質疑

国保事業特別会計予算について

予算総額は、19億8182万円で、対前年比8・2%の増となる。歳入の主なもの、国保税7億9357万円、国庫支出金7億5657万円、療養給付費交付金1億1410万円、一般会計繰入金2億412万円である。

歳出については保険給付費12億355万円老人保健拠出金4億8162万円、介護納付金1億4266万円などである。（賛成多数で可決）

〈今年度の国保税は〉

質問 今年の国保税は前年比6630万円の増額となっている。伸び率で9・1%。国保税を値上げする予算なのか。又は、基金からの繰り入れ等はいくらなのか。

答弁 国保税の算定については、保険給付費から国庫の交付金等を差し引いた額を基本的に

国保税の不足額として算定しております。昨年度と比べて一人当たりの国保税が上がる事が予想された場合は、その時点で検討させていただきま。今年度は4290世帯で、一世帯当たり1万4302円のアップ、1人当たりでは6803円のアップであります。

老人保健特別会計予算について

予算総額は、22億4100万円。対前年比1・0%の増である。歳入の主なもの、支払基金交付金13億7962万円、国庫支出金5億7425万円、県支出金1億4356万円、繰入金1億4356万円である。歳出については、医療諸費22億4099万円である。（賛成多数で可決）

〈高額医療費の払戻しは〉

質問 高齢者高額医療費の払戻しは、どの科目から払戻しになるのか。

答弁 医療給付費と医療支給費から払戻しをしています。

質問 高額医療の払戻しの完全実施に対する対応は。

答弁 本人に通知をし、申請してもらっています。現段階では、90%の申請率です。

浪江町公共下水道事業特別会計予算について

予算総額を7億8941万円とし、対前年比6・7%の減で、歳入の主なもの使用料8534万円、国庫補助金及び町債2億8160万円、繰入金で3億4960万円あります。

歳出では、下水道建設事業の管渠整備が3キロメートル、整備面積15ヘクタール、工事費等2億9009万円、維持管理費7986万円などである。（賛成多数で可決）

〈下水道事業の今後の計画は〉

質問 国認可分321ヘクタールが

完了した場合の事業投資累積額と起債残高はいくらになるのか。

答弁 現在640ヘクタール計画の内事業認可分321ヘクタールを平成17年度まで完了する計画です。総事業費は100億円、起債残高は50億円の見込みであり、国費2分の1、町負担が2分の1で90パーセントが起債であります。

質問 公共事業評価委員会で事業継続の答申をされたが、町はどの様に考えているのか。

答弁 公共事業評価委員会審議の評価を得まして、今後はみどりヶ丘・幾世橋町内の計画があります、工事費等の削減を図りながら進めてまいります。

平成16年度浪江町水道事業会計予算について

本年度の給水戸数で6230戸、年間総給水量219立方メートルと定め、主な事業は、第4次拡張事業及び排水設備の拡張と改良事業の推進を図る予定である。

収益的収支では、収入の部で3億6666万円、支出の部で3億2234万円とし、資本的収支では収入の部で1億2600万円、支出の部で2億6103万円の当初予算としました。（賛成多数で可決）

〈末の森地区水道敷設計画は〉

質問 末ノ森地区88戸の拡張事業費の内容は。

答弁 末ノ森地区は整備費2億円で内訳は電源三法交付金が1億円、起債が1億円です。

16年度特別会計可決予算

- 奨学資金貸付事業予算（賛成多数で可決）
- 国保直営診療施設予算（全会一致で可決）
- 工業団地造成事業予算（全会一致で可決）
- 宅地造成事業予算（賛成多数で可決）
- 農業集落排水事業（全会一致で可決）
- 財産区管理事業（全会一致で可決）

主な議案

— 審議 —

町道下高塚3号線、辻敷内線、舩倉角畑線、大堀前5号線の4路線について認定誤謬修正及び一部用途廃止、並びに道路改良により認定廃止について可決しました。

(全会一致で可決)

○辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について津島辺地に係る公共的施設の総合整備計画を変更することについて可決しました。

(賛成多数で可決)

○浪江町児童育成奨励金条例の廃止について

(賛成多数で可決)

提出された議案

町長給与15%減額

○町長等の給与の特例に関する条例の一部改正について町長の給与月額を平成16年4月1日から平成18年3月31日までの間、15パーセント減額の改正について可決しました。(全会一致で可決)

○浪江町道路線の認定及び廃止について

その他の議案

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について (全会一致で可決)

○単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について (全会一致で可決)

○町道下続町2号線改良事業基金条例の廃止について

(全会一致で可決)

○浪江町手数料条例の一部改

正について

(全会一致で可決)

○企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

(全会一致で可決)

○双葉北地域介護認定審査会共同設置規約の廃止について (全会一致で可決)

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (全会一致で可決)

人事

○収入役の選任について

浪江町収入役の選任について、原案どおり全会一致で同意されました。



氏名 山田 信一
生年月日 昭和19年9月21日

採択

皆さんから
出された
請願・陳情

採択された請願

○町道改修に関する請願書
(高瀬字西原170先から小高瀬迫198に至る町道)

〔請願者〕

高瀬区長 愛沢 崇
外3名

採択された陳情

○国民本位の公共事業の推進と磐城国道事務所の執行体制等の拡充を求める陳情について

〔陳情者〕

国土交通省全建設労働組合東北地方本部平支部
支部長 鈴木 厚

○地方財政計画・地方交付税等の見直しの意見書採択を求める陳情書

〔陳情者〕

日本自治体労働組合総連

合福島県本部

中央執行委員長

酒井 誠

不採択とされた陳情

○小規模修繕契約登録制度の設置に関する陳情書

〔陳情者〕

相双民主商工会
会長 紺野重秋

議員発議の 意見書

採択された意見書

○国民本位の公共事業の推進と磐城国道事務所の執行体制等の拡充を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 国土交通大臣
行政改革担当大臣

○地方財政計画・地方交付税等の見直しを求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣

平成15年度補正予算

○一般会計補正予算について
平成15年度一般会計は、1億5千400万円を減額し、総額を75億4千7百76万としました。歳入の主なものは、地方消費税交付金13133万円、事業費確定等による受託事業収入5051万円です。

歳出の主なものは財政調整積立金5004万円、公共施設維持基金積立金2000万円、福島浪江勤労福祉事業団出資金1000万円などである。
(賛成多数で可決)

いこいの村なみえ
1000万円増資等可決

質問
財団法人福島なみえ勤労者事業団「いこいの村なみえ」へ1000万円の出資補正がなされているが、出資を要する理由はなにか。又、出資の総額と他市町村の出資内訳についてお示しいただきたい。

答 弁
雇用能力開発機構より引渡しを受け町所有になりました。平成16年度には県の役員が退くことになり、浪江町が

筆頭株主として経営基盤の安定を図るものであります。総出資金額は3150万円となり、内訳は次のとおりです。

市町村名	出資金額	市町村名	出資金額
福島県	10,000千円	双葉町	617千円
広野町	453	葛尾村	299
楢葉町	634	小高町	500
富岡町	921	原町市	1,000
川内村	424	浪江町	16,000
大熊町	652	合 計	31,500

パークゴルフ場事業費は

質問
パークゴルフ場の工事費が減額補正となったが、最終的に工事費はいくらだったのか。また地域振興基金から3000万円を充当されたが、減額分を積み立てする考えはあるのか。

答 弁
パークゴルフ場の工事費は全体で8650万円でありま

す。工事減額分は一般財源を減らすことで対応したいと考えています。

臨時財政対策債の減額は

質問
臨時財政対策債は、5億4000万円の発行枠が認められている。4800万円の減額補正はなぜか。

答 弁
人事委員勧告等が減額により4800万円借りなくても5億4000万円は当然カウントされ交付税で戻ってきた。借入金が増えるということではなくは経営的に良いものではなく借りる必要はないと考えます。

【臨時財政対策債とは】

国は、定められた地方交付税交付の財源不足に対し、臨時的な財源対策のため、起債で充当することを認めている。それは、後年度地方交付税に全額算入されることとなっています。

生活バスの定期券購入

質問

町営生活バスの運行に伴い定期券の発行・回数券の購入窓口業務を役場支所で代理できないか。

答 弁

受託者である役場タクシー事務所、運転手による引渡しを検討、支所での販売についても検討してまいります。

○浪江町介護保険事業特別会計補正予算について

平成15年度特別会計は、5390万円を減額し、総額を9億1千508万円としました。歳入については、国・県支出金、支払基金交付金及び繰入金の減額です。歳出については、保険給付費の減額が主なものです。
(全会一致で可決)

介護給付費減額の内容

質問

施設介護サービス給付費が8612万円の大減額補正になっております。浪江町の待機者合計が154名。利用できない待機者が大勢いる、大幅に予算減額されている背景を含め中身を説明願いたい。

答 弁

療養施設の療養型施設が当初計画で24床転換するということで見込んでいたが、現在の12床のままということ転換が進まなかった。

○浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算について

平成15年度特別会計は、331万を減額し、総額を20億4千815万円としました。歳入については、国・県の保険基金安定負担金の交付決定によるものです。

歳出については、保険給付費の増額補正、共同事業拠出金及び保険事業費の減額が主なものです。
(全会一致で可決)

その他の議案

- 浪江町文化及びスポーツ振興育成事業特別会計補正予算 (全会一致で可決)
- 浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算 (全会一致で可決)
- 浪江町公共下水道事業特別会計補正予算 (全会一致で可決)
- 浪江町水道事業会計補正 (賛成多数で可決)

視点・論点

《少子対策・子育て支援》

全小学校区に 放課後児童クラブ設置決まる!!

論点1

子育て支援の
見直しとは

質問

少子化対策・子育て支援については、町を挙げて真剣に取組まなければならない事業であると認識しております、どのように子育て支援を見直しされるのか。

答弁

国の児童手当見直しもあり、財政的に余裕があればそれを上乗せすることもできます。限られた財源でできる少子化対策・子育て支援を総合的に見直し、今回の児童クラブを全小学校区に設置することもその1つですが、今後トータルプランの中で町民の要望に応えて参ります。

論点2

財政負担は
どうなるのか

質問

児童福祉関係事業で16年度予算では15年度と比較して、1400万円の町負担が増える説明でしたが、国の事業拡大に伴う、児童手当小学校3年終了前特例給付関係

答弁

を除いた、町の負担は630万円位の増になるだけで、児童福祉事業に財政投資を増やすと言っていることは過大な説明ではないか。

論点3

放課後児童クラブの
入所要望はどれだけ
あるのか

質問

16年度から児童クラブを各小学校に設置することになりますが、現時点での申請登録者数はどれだけになるのか、また浪江小学校以外の申込者は少ないときいております。要望があれば高学年までの受け入れ態勢を検討すべきと考えるが。

答弁

現時点での各学校の申請者数は、請戸10名・幾世橋7名・浪江57名・苧野7名・大堀13名・津島7名で101名の要望がありま

論点4

児童育成条例はなぜ
廃止するのか
年2万円支給廃止

質問

す。高学年までの受け入れ態勢については、まず機会均等という立場で3学年までを全地域に広げたいと考えております。

答弁

児童の健全育成を目的とするならば、奨励金を単に支給するだけでなくスポーツ文化の面での支援、児童クラブ等働きやすい環境の整備に取り組むことが重要だと考えています。

町政を問う

一般質問

— 質問通告事項 —

●佐々木 恵 寿 議員

- 1 住民総参加の行政運営について
- 2 男女共同参画社会の実現について
- 3 浪江町消防団の活性化について

●橋 爪 光 雄 議員

- 1 子育て支援の強化を図れ
- 2 公共施設構内の整備を図れ
- 3 溜池の有効利用を図れ

●佐 藤 文 子 議員

- 1 男女共同参画社会実現に向けての取り組みについて
- 2 高齢者支援、子育て支援の取り組みについて

●吉 田 数 博 議員

- 1 農業振興対策について
- 2 114号拡幅事業について
- 3 県立大野病院の診療体制について

●渡 部 貞 信 議員

- 1 請戸漁港の利用高揚について
- 2 請戸漁港背後地の整備について
- 3 海水浴場の設置について

●紺 野 榮 重 議員

- 1 合併問題
- 2 財政問題
- 3 観光開発について
- 4 道路拡幅について
- 5 興化市との友好都市の件

●鈴 木 辰 行 議員

- 1 地震対策について
- 2 放課後児童クラブの各学校の設置は
- 3 児童通学路の安全対策を図れ
- 4 農業政策の確立を目指す対策は

●馬 場 績 議員

- 1 「三位一体の改革」と地方財政について
- 2 公共事業の見直しと入札改善について
- 3 農政について
- 4 雇用、中小企業及び生活支援について
- 5 特別な支援を必要とする「子供の相談」について
- 6 森林資源の積極活用について
- 7 老人世帯の防火対策について
- 8 原発行政について
- 9 平和と憲法について

●佐々木 茂 夫 議員

- 1 上下水道事業による町道復旧について

●小 黒 敬 三 議員

- 1 中心市街地の活性化について
- 2 観光行政の進め方について

●佐々木 英 夫 議員

- 1 地域づくりサポート事業について
- 2 企業の誘致と働く場所づくりについて
- 3 児童虐待は
- 4 町における健康づくりについて

●田 尻 良 作 議員

- 1 農業振興について
- 2 老人の介護福祉対策について

《一般質問の掲載方法》

議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、
1 議員3件までの質問、答弁をそれぞれ1,000字以内に要約
しておりますので、ご了承願います。

浪江町の憲法 「浪江町まちづくり基本条例」 の制定を目指す考えは

佐々木恵寿けいじ 議員



質問

町政執行の柱として、公正で公平な、町民参加の開かれた町政を築き、簡素で効率的な執行をすることにした理由は、何でしょうか？近い将来に、浪江町の憲法というべき、「浪江町まちづくり基本条例」の制定をめぐり、町民の信託に答えていくべきと思いますが、町長の考え方について伺います。

答弁

私の政治信条は5ヶ条のご誓文の、広く会議を起こし万機公論に決すべしとしてまいりました。この政治信条を町政にも生かしてまいりたいと

考えています。町づくり基本条例を進めるべきであるという

ことは、私も同意見であります。浪江町まちづくり基本条例は、浪江町のまちづくりを進めるうえで、町民の共通ルールです。制定するためには、浪江町情報公開条例、浪江町行政手続条例、浪江町個人情報保護条例などの整合性を図りながら検討してまいります。

男女共同参画社会 の実現に向けた 取り組みについて

質問

男女共同参画社会を積極的に推進し、女性の能力を十分に発揮できる環境をどのような形で具現化していくのかお聞きします。

答弁

男女共同参画社会とは、男女平等、女性の権利拡大、性差を超えた相互理解等の広範囲にわたる観念的な要素が強いことから、町としての指針を掲げ、県条例に沿った行動計画を策定することによって住民の意識を啓発することが必要と考えています。条例制定は時期を見て検討すると考えています。

質問

小・中学校における男女混合名簿の推進や、男女平等の視点に立った学校内の慣行の見直しを行う事等について学校現場・教育現場で行うべきと思いますか。

答弁

(教育長) 学校教育現場は、男女共同参画社会を実現するために非常に重要な場であり、子供たちの指導陣の中では、だいたい男女共同参画



消防団の改革・再編を

浪江町消防団の 活性化について

質問

総体的な団員数の見直しや、適正な団員の確保、あるいは、部の統廃合を含む再編成の声が高まってきているものと感じております。そのためには消防団改革検討委員会

が進んでいます。男女混合名簿につきましては、徐々に進んでいます。今後、校長に指導をしていきたいと思えます。

答弁

消防団と協議しながら、社会環境の変化等による消防団の実情や課題等を分析し、出動手当等の処遇の改善等を含め、新しい時代に即した消防団のあり方等の調査研究を行ってまいりたいと思えます。消防団の広報活動につきましては「広報なみえ」の活用を図り、また、消防団ホームページの開設につきましては消防団と協議してまいります。

子育て支援の強化を図れ

橋爪 光雄 議員



質問

今年4月から児童手当の支給対象年齢が現行の小学校入学前から小学3年生終了まで引き上げられます。町の支給対象児童はどのくらいの数になるのか。

答弁

小学校3年生終了まで延長による対象児童数は530人、その額は3170万円程度と試算しています。

質問

支給対象児童が支給を受けるのには、認定請求書などの書類提出が必要となる。町は申請漏れ防止対策をどのよう

に考えているのか。

答弁

今回増加する児童対象につきましては、学校を通じてPRに努め、申請漏れのないように努めてまいります。

質問

共働き家庭も入園しやすくなる国の施策に対応するため、町として私立幼稚園と町立幼稚園、保育所との入園対策の会議を開催する必要がありますのではないかと。

答弁

私立幼稚園、公立幼稚園、保育所の連携が必要だと思います。今後、関係機関において協議をしていきます。

質問

今年4月から始まる小児救急電話相談、全国一律で#8000番にどう対応していくのか。

答弁

県はそれに対する新たな対応は現在予定はしておりません。町としては、休日や夜間については、地域の医師会の協力ですぐ在宅当番、輪番制度を用いて第2次医療行為に対処していきたいと考えております。

公共施設の構内の整備を図れ

質問

ふれあいセンターなみえ施設側に駐輪場を設置する計画はあるのか。

答弁

ふれあいセンターは複合施設となっており、駐輪場の設置については必要性を感じております。財政事情を踏まえながら設置場所、規模等を検討してまいります。

質問

ふれあいセンターなみえ施設南側構内の舗装計画はあるのか。

答弁

雨天時、コスモス保育園の園児送迎時に支障を来たしていることから、一部舗装するため、平成16年度予算に計上しております。

溜池の有効利用を図れ

質問

溜池の利用目的と環境整備計画はあるのか。

答弁

溜池は43ヶ所あります。利用目的は、農業かんがい用水の確保として作られた重要な施設です。緊急時の防火用水、水害防止及び地域環境の保全に役立っています。通常の溜池の管理は、地元の受益者で構成しており、水利組合が管理を行っております。整備の手が届かない場所については、今後指導してまいります。



思いやりの対応を!! (ふれあいセンターなみえ)

男女共同参画社会の実現に向けた 取り組み、高齢者、子育て支援の 取り組みについて問う

佐藤 文子ふみこ 議員



質問

男女共同参画社会の実現に向けた条例づくりについてどのようなプランを持ちその年月日の目標は。

答弁

全職場での取り組み、職員に対する啓発を推進し、家庭、職場、学校等と各場面に広げていき、新年度は啓発資料の配布を始め講演会等の開催を視野に入れて検討をし、日時をこれから定めていく考えです。条例の制定については、男女共同参画社会の熟度を待つ方向を見定めていくつもりです。

質問

浪江町では各審議会、委員会の女性の登用率が県の平均を下回っています。庁内に女性の課長、課長補佐は1人もいず、健康福祉課に係長が少数専門職についている現状はどう思われますか？

答弁

町では平成17年度を目標年度として、審議会等の女性登用率を30%と定めています。選任方法は町民参加条例に基づく一般公募制度を導入している。今後女性の応募が増加することを期待している。又、町職員全体の女性の比率は平成16年2月現在で35・9%、出先機関は65・6%でその人選は適材適所を基本としている。

質問

小さい頃から性差別をなくすためにも公立小学校での男女混合名簿導入の考えはないか。

答弁

校内の名簿混合がなかなか進まない理由に、身体測定と保健関係の行事等で二重名簿を作成しなければならぬという事務手続きの煩雑さがネックになっている。しかし新年度に向けてそういう煩雑さを乗り越えた取り組みを各学校長に指導していくつもりです。

質問

町内の65歳以上の独居老人は467名と多く、高齢化率も県の平均を上回っています。独居老人が日々の暮らしに生きがいを持って安全で安心に、又バランスの良い食生活をおくれるような支援体制が急がれていますが？

答弁

高齢者、独居者等の支援に對してサポートするボランティア組織づくりの重要性は充分認識しており、今後検討

男女共同参画 各市の取り組み

佐賀県は、男女共同参画社会の実現に向け、各市町村が独自の取り組みを行っている。その中でも、浪江町は、子育て支援、高齢者支援、障がい者支援など、幅広い分野で取り組みを行っている。特に、子育て支援については、児童館の充実や、子育て支援センターの設置など、積極的な取り組みを行っている。また、高齢者支援については、高齢者クラブの設置や、高齢者見守りサービスの実施など、様々な取り組みを行っている。障がい者支援については、障がい者就業支援センターの設置や、障がい者福祉課の設置など、積極的な取り組みを行っている。

組織は整うも 具体策不十分

浪江町は、男女共同参画社会の実現に向け、組織を整えることに努めている。しかし、具体的な施策は不十分である。特に、子育て支援については、児童館の充実や、子育て支援センターの設置など、積極的な取り組みを行っている。また、高齢者支援については、高齢者クラブの設置や、高齢者見守りサービスの実施など、様々な取り組みを行っている。障がい者支援については、障がい者就業支援センターの設置や、障がい者福祉課の設置など、積極的な取り組みを行っている。

県、男女共同参画社会推進へ 県庁会議を設置

5月めどに指針策定

県は、男女共同参画社会の推進を図るため、県庁内に「県庁会議」を設置する。この会議は、県庁内の各部署が連携して、男女共同参画社会の推進に取り組むこととなる。また、5月めどに指針策定を行う予定である。

県庁会議の設置は、男女共同参画社会の推進に大きく貢献するものと考えられている。また、5月めどに指針策定を行うことで、具体的な施策の策定が可能となる。これは、男女共同参画社会の実現に向けた重要な一歩である。

質問

し、充実に向けた取り組みをかんがえていくつもりです。仕事を持つ若い母親が安心して乳幼児を預け社会復帰ができるような施設の充実が急がれ、より一層の充実が望まれています。対策は？

答弁

現在いわき市と須賀川市でやっているようなファミリーサポートの組織は浪江町にはないがコスモス保育園で実施している延長保育や、一時預

質問

町内の各小学校にも放課後児童クラブの必要が迫られているので早い段階での開設が望まれている。児童クラブがないために学区線を越えて入学せざるを得ないことのないようにしてほしいと思いますが、計画は？

答弁

新年度から全小学校区での開設を予定している。現在準備として学校または施設の場所を何箇所か検討中であります。

男女共同参画社会の推進を

新しいコメ政策を問う!!

吉田 数博 議員



質問

国の米政策改革大綱をうけて、浪江町地域農業ビジョンが策定されました。地域振興及び水田利用の将来方向、担い手の明確化と育成の将来方向が示されたが、その推進対策をどうされるのか。又地域づくり交付金のあり方について問う。

答弁

水稻は町の基幹作物であり、米需給調整の推進、担い手の育成を図りつつ、循環型農業による作物の形成を図ってまいりたい。交付金については、今までの動向を考慮し

つつ、今後改善を図ってまいりたい。

町づくりの核を!!

質問

国道114号線拡幅事業に伴う都市計画の策定を急ぐ必要があるのでは? 又中心市街地活性化のためにも、観光、地場産品、産業の紹介を含めた情報発信が出来る拠点施設づくりが必要では?

答弁

都市計画マスタープランに基づき、拡幅事業に伴う各種整備を行う予定であります。又、本事業を中心市街地の活性化につなげるために、核となる施設が必要であると考えており、16年度中に具体的な計画を策定する予定であります。

医療診察体制の充実をはかれ!!

質問

県立大野病院の小児科休診対策及び県立病院改革により、地方公営企業法の全部適用導入に伴う諸課題について伺いたい。子育て支援、地域医療を守る観点から、早急な対応が求められているが!!

答弁

県においては、小児科医師を含め、医師不足対策を急いでおり、今後とも、町村会を通じ働きかけをしてまいります。新年度も県立病院の診療体制の充実と、救急救命センターの設置は相双市町村の最重要課題事項であります。県立病院は地域医療の要であるとの認識から、今後とも対応を鋭意図ってまいります。



新しい米づくりがスタート

請戸漁港の 利用高揚について

渡部 貞信 議員



質問

請戸漁港は、既存の漁港南側にマイナス4メートル岸壁、泊地面積2万3千2百平方メートルを有した新港の整備が図られました。新港の供用開始までには至っておりませんが現状のままですと通常時においても波高の高低に著しい差が生じ魚介類、諸資材の陸揚げに係船でできる状態にはありません。供用開始までには、安心して係船、陸揚げができるよう関係当局に強く要望されるとともに、漁協との協議をもって漁港の利用高揚策を図っていただきたい。

答弁

県では、漁港漁場整備長期計画に基づき、入出港時の安全確保のため、平成15年度から計画的に沖合い防波堤の整備をしております。早期完成を図るべく県に要望してまいります。漁港工事負担金については、漁協が合併されても従来どおり町の負担にかわりはありません。

質問

漁港背後地の 整備について

請戸漁港の整備とともに広

次に漁港の整備、修築にあたっては総事業費の10パーセントが町負担金として捻出されておりますが、漁協の合併もあり、関係行政町での捻出は対応できるのか、できないのかお伺いいたします。

大な背後地を有するに至っておりますが、県では緑地としての植栽、またミニ公園としての計画はあるようですがまだ採択されていないということであり、観光事業の一環として



波高対策がまたれる請戸港

請戸漁港における快適な環境の創造、地域性の演出、周囲の景観との調和を図るため漁港環境整備事業を計画検討している段階です。請戸港ゾー

て、請戸港に水揚げされる魚介類を目で見、手で触れるタッチングゾーンの施設設置について、県が計画されている事業の早期着手への要望と併せ、是非実現に向け立案、計画策を講じていただきたい。

答弁

海水浴場の設置について

質問

海水浴場を有しながら安心して遊泳できる場所がない。また、脱衣所、シャワー、トイレ等の施設がありません。誘客を図るうえからも海水浴場と諸施設の整備についてご配慮をいただきたい。

答弁

請戸海岸は、平成元年より高潮対策として「なぎさリフレッシュ」事業に取り組んでおりますが、飛砂という問題も発生、波打ち際にテトラポットの仮置、海水浴場として好ましくない状態にある。テトラポットの撤去、南側に突堤への活用を県に要望、砂の付き状態を研究、海水浴場として人が賑わう場を再現したいと考えています。

合併問題、観光開発について

紺野 榮重 議員



合併問題について

質問

小高町との合併の枠組みは否定された訳ですが、合併に対するアンケート、合併するとすればその枠組みをどう考えられるかお伺いします。

答弁

新年度に入って地域総合計画を予定している中で、それに伴う住民アンケートを予定している。併せて合併についてのアンケートを考えている。又枠組みについては、双葉は一つということを確認

認、町村長、議長会での勉強会をしている。さらには助役レベルの勉強会も提案しております。

質問

合併をしないで浪江町として残られた方がよいのではないかと考えますがお伺いいたします。

答弁

合併をしないということも一つの選択肢であります。ある程度の規模を確保して、意欲的に進むべきと考えております。

観光開発について

質問

大堀の旧民芸会館を利用して、佐々木俊一、原田直之、榊田隆一記念館を造って、

浪江町を売り出す考えはないか！

答弁

非常に有意義と考えるが、現時点ではまだ、未定であります。

道路拡幅について

質問

通称幾世橋中道の道路拡幅についての計画を問う。

答弁

平成16年度測量設計、平成17年度に用地買収、平成18年度改良工事の予定です。なお、平成16年度には地権者への説明会を実施したいと考えております。

興化市との交流効果は

質問

友好都市を見直す時期がきているのではないかと伺います。そして成果はどのように考えられるのか！

答弁

平成8年の友好都市締結以来7回107名の小中学生が訪問しております。帰国後報告会を通して各学校の成果が上がっていると推察しております。特に教科では学べない貴重な教育機会となっております。



大堀民芸会館の観光利用を

農業政策の確立を図れ!!

鈴木 辰行 議員



通学路の歩道整備計画は

質問

少ない子供たちを交通事故から守る事は、私たち大人の

答弁

責務であります。交通量の多い通学路の歩道整備はどのように考えているのか。

現在通学路として指定している路線は、国道・県道・町

道合わせて200路線あります。うち歩道が設置されているのは、一部設置を含め24路線です、町道通学路の歩道整備は、交通量を勘案して整備しているところです。

質問

交通量の多い樋渡地内、県道浪江落合線の高瀬から新町までの路線、相馬浪江線の沢上

地内についての整備計画は、

答弁

歩道を整備するには、用地の確保が必要となります。今後交通量及び財源等を勘案しながら、又側溝に蓋掛けして歩道を確保することも合わせて検討していく考えです。

地震災害対策は

質問

近年この地域で、震度4以上の地震発生が多くなっております。地震災害対策は、

答弁

災害発生時の対策として、37ヶ所の屋内避難所を選定しております。地震災害等の一次的な屋外避難所が必要と考え、今般13ヶ所を選定しております。次回の町防災会議に諮り、看板の設置と合わせて、広報紙等で住民への周知をします。災害発生時に迅速な行動がとれる、自主的な組織の結成を図るよう努めます。

質問

落合浪江線の高瀬地内については、県に要望しております。牛渡地内と沢上地内については、今後県に要望していきます。

浪江町地域水田農業ビジョン基本方針にある「農業が職業として選択し得る魅力とやりがいのあるもの」と

するならば、水田専業農家であれば20haの水田が必要です。この政策で本当に町の農業が確立されると考えているのか。複合経営農家を育てるためにどのような経営体を推進するのか。地域の担い手の位置づけ、生産組織の育成はどう進めるのか又集落営農の取り組みはされるのか。堆肥センターの補助金が予算化されておりますが、農業振興にどのように組み合わせるのか。生ごみ、鮭廃魚を含めた堆肥センターを造るべきではないのか。

答弁

地域での話し合いを重ね、集団営農の推進、有機栽培やエコ農業の推進、担い手農家を18年度までに確立したい。堆肥センターについては利用組合を設立して、土づくり、品質の向上を図ります。生ごみ、水産物の堆肥化は次の段階で考えています。



通学路の安全対策を

米政策改革大綱による町の農業対策

双葉精器KKの再生・存続の 対策を図れ

馬場

いさお
績議員



計量器の自社検定 認可の見通しは

質問
双葉精器は50名余が働く津島地区最大の雇用の場、存続のための町の対応は。

答弁
再建に向け、今月中に内容が決定することになっております。

質問
今、必要としているのは自社検定資格です。認可の見通しは。

答弁
3月頃には可能性があるかと伺っています。

町の緊急雇用対策事業の 拡大を図れ

質問
ハローワークの有効求人倍率は0.74と依然として厳しい。町の特別交付事業は前年より700万落ち。この制度の改善と拡充が必要、補正対応の考えは。

答弁
雇用創出基金事業は平成14年から3年延長されております。制度の活用を含め、安定所と連携を取り、対策を図っていく考えです。

新しい米政策で、 地域農業は再生されるのか

質問
意欲のあるプロ農家育成と同時に、兼業農家を正しく評価し、共存できる農業将来ビジョンになっているのか。

答弁
規模拡大志向と委託農家に分かれている中で、規模拡大する農家6割を目指すものです。又、地域の実態に併せた営農実践組合作りを進めていく考えです。

質問
「売れる米づくり」が米政策の看板。しかし、過剰米は1俵3千円。果たして稲作経営を続けられると考えておられるのか。

答弁
銘柄米を中心としまして、需要の動向に則した安定生産を目指していく考えです。

は拡大される。歯止めなき低米価と減反割り増しの政策でないのか。

答弁
米の下落補填として、稲作所得基盤確保、担い手経営安定対策、集荷円滑化対策の中で対応することとしております。



双葉精器の存続を

地方財政と町民の くらし、どう守る のか

質問
今年の浪江町の交付税収入は3億2千万円（臨時財政対策債込み）の減。これが小泉自公政権が進める三位一体の改革の実態。地方交付税の堅持と充実を国に強く求めるべき。

答弁
3月3日に、県町村会でも国に決議文を提出。交付金制度は絶対に必要であると認識しております。

200億の産学官構想 —大平山工業団地計画は 見直しを

質問
大平山工業団地はこれまでの用地取得に3億4千万円を投入。今後も続けるとすれば6億5千万円もの投資が必要になる。見直し、凍結を。

答弁
産学官構想は見直しになると思います。用地取得は町の新たな方針が出るまでは凍結になります。

町道路路面が凸凹で 割れ目が沢山

佐々木茂夫 議員



上下水道事業による町道復旧について

質問

下水道事業として、国の補助金を受け事業を完成させたあと、再度町単独経費で周辺の工事を行っている状況が見られるのではないかと。高齢者の人たちが散歩し又は押し車の歩行並びに幼稚園児の歩行でアスファルト舗装の割れ目や凸凹な所で転ぶことの発生する恐れがあります。車の往来でアスファルト舗装のかけらが

飛び跳ね車等が傷つき、また歩行者にあたる危険性があります。雨の道路でアスファルト舗装の凸凹の水溜まりで車が水を弾きます。安全安心な町道利用ができるアスファルト舗装復旧について伺います。

川添字藏西43番地の先付近交差点付近の工事は何回に分けて行ったのでしょうか。通学路でひび割れたアスファルト舗装であります。

権現堂字佐屋前13番地の5先付近は道路幅が同じでも細長く古いアスファルト舗装を残した理由はどこにあるのでしょうか。

幾世橋字斉藤屋敷6番地先付近は従来のアスファルト舗装が20センチメートルから50センチメートルの幅で残っています。橋付近はマンホールと段差がついて非常に危険な

道路になっています。

答弁

アスファルトの復旧方法でございですが、道路管理者と協議し、現状回復が前提条件となり、仮復旧をし、その後本復旧をする手法をとっております。当町の道路は昭和50年代に舗装を一气に行いました。今後は下水道の影響範囲のみでなく、建設課のほうで影響範囲以外は負担して頂き、全面復旧をするという協議が整い、今年度から全面復旧に入る手法をとっております。今後このようなことはなくなるというふうに考えております。



工事後の整備がまたれる町道



街の活性化と観光行政

小黒 敬三 議員



中心市街地の活性化について

質問

町では町の長期的な発展のために長期総合計画、都市計画マスタープラン、まちづくり基本構想策定調査報告書、114号線拡幅計画を作り今、中心市街地活性化基本計画づくりが進められています。今年は、長期総合計画の作り替えの年ですが中心市街地を活性化させるためにはこれらの計画が整理されていなければなりません。町は上位計画をどのように考えるか、

また114号拡幅は町の空洞化を防ぐとして計画されたものであり、中心市街地の活性化が成されるよう計画すべきであるかどうか。

現在の長期計画でも中心市街地活性化は重点施策として

答弁



中心市街地の活性化推進を

観光行政の進め方について

質問

1、歴史や文化といった資源を観光につなげるための工夫はあるのか。
2、観光協会の会員は商品開発や観光客のニーズをつかむ専門知識が不可欠です。そのような人材の確保をどうするのか。
3、観光協会が設立となれば専属の職員が必要となりますが、運営主体は役場・商工会・若しくは独立組織と

位置付けられており次の長計に引き継いでゆきます。上位計画については、長期計画の下にマスタープランがありそれを肉付けするためにまちづくり基本構想があります。現在それを取り入れながら中心市街地活性化計画をつくっています。114号拡幅も地域の声を聞きながら計画を立てておりどちらが優先というものでなく現段階では調整を取りながら進めていきます。

答弁

なるのかどうか。
1、歴史的価値のある文化財や施設など詳細な調査を行い、観光マップ等を作成しPRに努め町内施設を結ぶ新たな観光ルートづくりを進めます。
2、現時点においては、設立準備会を行った段階であり具体的にはまだ決まっておりませんが旅行者のOBの方からも協力の申し出があったりしていますので、今後設立後に人材確保に努力してまいります。
3、現時点においては役場内に置き協会が立ちできるようなった時には商工会もしくはTMOのような組織に置いてもいいと考えます。専属の職員についても産業振興課内に特命の主任を1人配置したいと考えています。

地域づくりサポート事業と 企業誘致は

佐々木英夫 議員



いるし佐々木俊一記念館等についても調整がつき次第意欲的に検討を続けて行きたいと考える。

質問

企業誘致と働く場所づくりについて、現在進めている企業はあるか、また働く場所づくりの対応について。

答弁

ホームページを利用して企業誘致を図っているが、現在のところ誘致を希望している企業はない。今後についても見直しはしていない。国補助金の活用を含め、雇用機会の確保を図り県内企業への就職を希望する大学生・高校生を対象とする合同面接会の開催の情報提供など、関係機関一体となり地域雇用状況の改善を図っている。

質問 市町村や民間団体の創意を生かした町づくりを後押しする、地域づくりサポート事業補助対象地域再生枠が新たに設けたが、浪江町は何を進め申請されたかまた観光については何を主に進められるか。

答弁 今回の地域づくり事業には申請していない。県の地域づくりサポート事業の一般枠では大堀相馬焼の秋の登り窯まつりとか十日市のよさこい踊り、ビーチサッカーイン浪江は申請しています。観光では海も山も優位性が認められて

児童虐待は?!

質問

児童虐待は浪江町ではあるか、あるとすればその対応については。

答弁

虐待基準の1、身体に外傷が生じ、または生じる恐れがある暴行、2、わいせつな行為をするか行為をさせること、3、心身の正常な発達を妨げるような著しい減食、または長時間の放置や看護を怠ること、4、著しく心理的外傷を与える言動を行うこと。以上の様なことの児童虐待は児童相談所に通告したものは3件ある。相談所の判断では虐待にはあたらないという回答を得ているが、児童生徒の健全育成上見逃すことの出来



町の健康づくり相談

町における健康づくりについて

質問

町における健康づくりと運動の進め方、保健師の役割と活動について。

答弁

保健師については、疾病予防と健康管理の分野を主に地域の人々が健康的な生

ない状況にあるという事は変わらないので、その他の事例も含め注意深く見守り適切な措置をとって行きたい。

涯を送れるように具体的な健康指導を行っている。健康づくりでは健康増進に関する正しい知識の普及と情報の提供、住民の健康増進に関する施策についての計画の策定、生涯習慣病の発生状況の把握、栄養改善、その他生活習慣の改善に関する事項についての相談、保健指導や健康手帳の交付、各種検診の実施、老人クラブや公民館の健康教育の実施、レクリエーション大会での貯筋運動の実施を通じて住民の健康増進に努めたい。

農業振興と介護福祉対策について

田尻 良作りょうさく 議員



水田農業ビジョンの基本は

質問

集落環境、生活環境等の整備もあわせて生産基盤の整備、農地の流動化を促進し農地の有効活用を図るべきと考えるが、用水路事業を含め水田基盤整備の推進にあたって地元負担金の軽減対策はあるのか。

答弁

① 耕地の集団化・作業の大型化・低コスト化など営農の効率化を図り生産性を向上させると共に、この基盤

オンフルール双葉の増設について

質問

介護保険は、平成17年度に大きく見直しされると言われ、各町村の財政にも影響が出ると思われる。要介護にならないための介護予防対策について。

答弁

平成16年度から新たな転倒防止や寝たきり予防のための高齢者の筋力トレーニング教室を予定しており町は食生活改善推進委員会「にんじんの

整備事業は不可欠でありま

② 地元負担金についても、他の地域の負担割合などを参考にしながら検討してまいります。

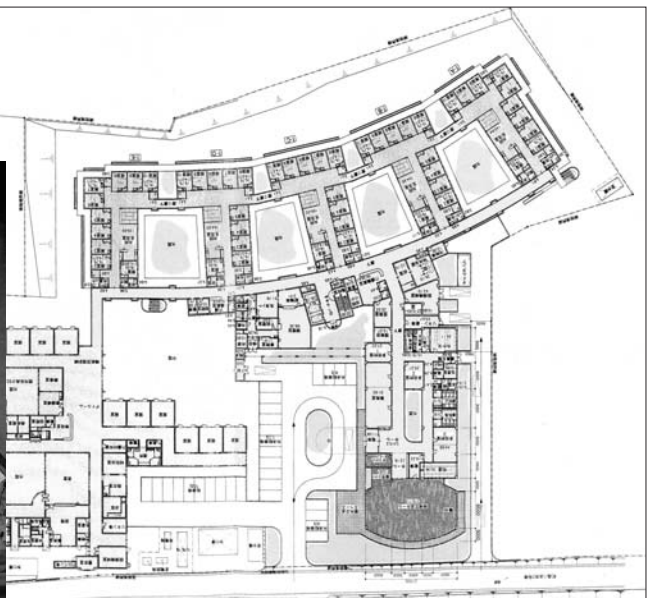
会」の協力で町民の生活改善の推進に向け取り組んでいるところでは。

質問

オンフルール双葉増設について。

答弁

事業主体が社会福祉法人博文会で既設のオンフルール双葉を増設するものであります。町としても国県補助相当額の補助を当初予算に計上したところでは。構造は鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積が5933・93平方メートルで総工費は15億9180万円、特老90床、シヨートステイ10床、合計100床の増設ということでありまして。平成16年10月着工、平成17年11月完成、12月に事業開始の予定であります。



増床模型図

委員会報告

各常任委員会、特別委員会より閉会中の事務調査報告が別記のとおりありました。

◆ 総務 常任委員会 ◆

所管事務 調査報告書

《付議事件名》

- 小規模修繕契約登録制度の設置に関する陳情について

《調査の内容》

- 小規模修繕契約登録制度の設置に関する陳情について
担当課より提出された平成15年度修繕契約実績表により契約状況の説明を受ける。

《審議の結論》

町の状況では、件数、金額ともに制度を生かせる状況はないと思われ、この事件については不採択とするが、今後契約には慎重を期して、公平性に配慮しながら対応できるよう町当局に要望する。

◆ 産業建設常任委員会 ◆

所管事務 調査報告書

《付議事件名》

- 堆肥舎整備状況と浪江町堆肥センター整備についての現地調査

- 浪江町水田農業ビジョンについて

《調査の内容》

- (1) 堆肥舎整備状況について
「家畜排泄物処理施設整備状況一覧表」に基づいて担当課より現在の堆肥舎の整備状況及び今後の整備状況について説明を受ける。
- (2) 浪江町共同有機堆肥センターについて
平成16年度建設予定の、堆肥センターについて建設の概要を詳しく担当課より説明を受ける。設置場所、事業実施主体、総事業費、維持管理計画について。

- (3) 浪江町水田農業ビジョンについて

米政策改革大綱における平成16年の浪江町地域水田農業ビジョン基本方針の概要について担当課より説明を受ける。

- (4) 堆肥舎現地調査
● 堆肥舎の整備状況と利用状況

番号	氏名	頭数	地区	補助事業名	建設年度
1	木幡章	38	立野	県単独	14
2	門馬秀昭	51	下津島	国リース	15
3	三瓶利仙	97	南津島	国リース	14
4	三瓶文雄	40	赤宇木	国リース	13
5	紺野幸四郎	68	赤宇木	国リース	16 予定

- 浪江町堆肥センター建設予定地区視察
立野地区
津島地区



堆肥舎の現地調査
(立野木幡宅)

◆ 文教厚生常任委員会 ◆

所管事務 調査報告書

《付議事件名》
所管事務調査について

《調査の内容》

① アクセスホームさくら

代表者菅原定雄氏より、施設の概要について説明、施設への支援力等の要請があった。

② 浪江中学校

各クラスの授業を参観し、その後菅野正敏校長より、学校の概要の説明を受けた。

その後懇談を行い、学力問題・不登校問題等について質疑が行われ、学校給食の試食をおこなった。

また、プール改修の要望がだされた。

更に、教育現場へのＩＳＯ導入について、文教厚生

常任委員会の議題として取り進むことを確認した。

③ やすらぎ荘
健康福祉課長より、やす

らぎ荘の施設概要の説明を受けた。
委員より、陶芸の杜おぼりと一体化した利用構想等の意見が出される。
シルバー人材センターへの事務委託について健康福祉課の事務調査を行う。



浪小児童クラブ現地調査

ガス納入業者選定については、シルバー人材センターの事務調査を行う。

④ 放課後児童クラブ
指導員3名と、放課後児

童クラブの現況について懇談を行った。
その中で、トイレの問題等の環境整備・教育現場との交流等の問題提起がされた。

◆ 地域共生型電源開発 特別委員会 ◆

所管事務 調査報告書

《付議事件名》

安全性の確保と情報の公開を前提とした電源開発の促進及び地域振興事業に対する調査

① 巻原子力発電所計画の撤回について

平成11年8月に、巻町長が発電所建設予定地の町有地の一部を建設反対されている方々に売却され、地元町民が町有地への住民監査請求を経て、平成12年5月住民訴訟を提訴、本訴訟は、

平成13年3月新潟地裁で控訴棄却、平成15年12月18日最高裁で上告受理申立不受理され、電力としては、計画を推進していくことは極めて困難であると判断し、当原子力発電所の計画を撤回決定したとの説明を受けた。

② 東北電力浪江・小高地点の状況について

前回委員会開催後の大きな変化はなく、早期解決に向けての努力を行っているとの説明を受けた。
委員からは、早期解決のため積極的に取り組んで欲しいとの要請が出された。

◆ 国道114号拡幅促進 特別委員会 ◆

所管事務

調査報告書

《付議事件名》

114号拡幅促進に関する

調査のため

《調査の内容》

I 平成15年度事業実績について

国道114号浪江拡幅事業推進一覧表により、平成12年度より補償契約数の説明を受けた。

II 平成16年度の事業計画に

ついて

第一工区残り戸数9戸、補償額約6億円の計画、道路整備（計画）に係る、歩道・植樹帯・水路・街路樹等について、更に国道114号の道づくり推進体制と役割について説明を受けた。

委員より、電線地中下、ゴミ集積所、横断道、歩道橋、駐車場等の今後の取り組みについて質疑がおこなわれた。

説明終了後、小高町のボケットパーク3か所の視察を行った。

◆ 町村合併調査 特別委員会 ◆

所管事務

調査報告書

《付議事件名》

町村合併に関する調査のため

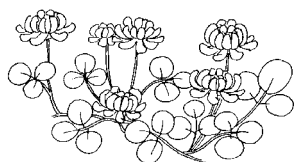
《調査の内容》

町村合併調査特別委員会の今後の進め方について

浪江町・小高町合併協議会は、平成15年12月9日の第6回会議を持ち閉会となった。

これを受け、小高町議会は平成15年12月11日、浪江町議会は平成15年12月25日、浪江町小高町合併協議会の廃止について議会の議決をされた。

町村合併問題については、郡内町村長会・郡内議会議長会において、今後勉強会を行っていくことになっており、当町議会としても引き続き調査検討を進めるべきと考



紅梅公園の現地調査（小高町）

議会活動の近況

【1月】

- 13日 双葉地方電源地域政策協議会
地域共生型電源開発特別委員会
- 15日 国道114号渡利バイパス交通安全
祈願祭
- 16日 双葉地方電源地域政策協議会
議会報編集特別委員会
- 20日 双葉地方町村議長会
議会報編集特別委員会
- 22日 双葉地方電源地域政策協議会
- 26日 双葉地方町村議長会
- 28日 文教厚生常任委員会
- 29日 第4回原発サミット総括会
- 30日 総務常任委員会

【2月】

- 4日 国道114号拡幅促進特別委員会
- 9日 町村合併調査特別委員会
- 13日 広域圏組合議会保健衛生委員会
- 16日 新人議員研修会
広域圏組合議会消防厚生委員会
- 19日 産業建設常任委員会

- 20日 浪江町観光協会設立準備委員会
広域圏組合議会総務常任委員会
- 23日 広域圏組合議会運営委員会
- 24日 県議長会定期総会
- 27日 平成16年第1回広域圏組合議会定
例会

【3月】

- 3日 議会運営委員会
- 9～19日 3月定例議会
各常任委員会・議会報編集員会
- 22日 議会報編集員会

【4月】

- 1日 コスモス号出発式
- 6日 議会報編集特別委員会
- 7日 双葉地方町村議会議長会
- 8日 川俣町問屋前バス出発式
- 14日 常磐自動車道開通式
議会報編集特別委員会

議会報アンケート調査 ご協力ありがとうございました

2月に実施いたしましたアンケート調査は、行政区長・組長さんをはじめ、町民の皆様のご協力によりまして、約3000件回収することができました。

今後、アンケート内容を集約いたしまして「特集号」でお知らせいたします。

議会報編集特別委員会
委員長 馬場 績



リサイクルボックスの設置を

権現堂字順礼川原53-1-3

門馬昌子



スーパー等で、牛乳パック・食品トレイ・ペットボトル・ビン・カンを回収して

いるところがあります。浪江町ではリサイクルハウスで紙類等は回収しています。しかしビンやカン、ペットボトルと牛乳パックの回収は月に1回しかありません。そのために、1ヶ月ものあいだ家庭で保管しなくてはなりません。リサイクルハウスのような場所に、ペットボトル・ビン・カンも回収する場所があれば家庭で袋がいっぱいにな

るまで保管することがなくていいのではないのでしょうか。リサイクルボックスであればビンやカンを入れる袋もかかりません。

ドイツでは、ごみの分別が徹底しており子供の頃から環境について勉強しています。日本ではどうでしょう。不法投棄が絶えません。このままでは環境破壊が心配です。リサイクルをもつと家庭で心がけることができます。それには、ごみ減らすことができます。それには、行政の協力が必要です。できる限りの対策をして、ごみ、環境問題が改善されることを望みます。

炭振興策の検討を

北幾世橋字植の畑4-1-3

西秀雄



8年前、人手が入らず荒れた竹林を整理したいと竹炭づくりに取り組み、2

年半かけて古い竹を竹炭にすることができるようやく陽の差す竹林にすることが出来ました。

その後は、知人の要請などで他所様の竹を切る事も多くなり、そこで痛切に思ったことは、如何に木・竹の処分

に困っている方が多いかということ。他方、炭は昨今の炭ブームでもわかるとおり、炭の持つ機能性が見直され、かつて燃料でしかなかったものが、環境資材、農業資材、生活資材と範囲が広がって利用されてきています。

このような時期、県においても、炭は循環型社会の実現のため有効な資材であるとして、「福島県炭振興基金方針」案が策定されています。町においても、他市町村に先行して炭の振興策を検討し、「炭の里」づくりとして中山間部に生産基地を造り、炭窯やプラントの導入、更にドラム缶窯など設置して処分に困った木竹材を炭化し、安価で販売したり、レジャーとしての炭焼体験の場を作る事を検討してはどうでしょう。炭焼きは長い経験が必要と言われましたが、現在では炭窯の設計図もあり、温度管理をすることで誰でもある程度の炭は焼く事ができます。地域活性化のひとつとして検討される事を提案致します。



編集後記

「結いの心を求めて」

「こんにちは」

笑顔の挨拶が一日の始まり

風が吹けば隣同士の垣根が飛ばされていかないか

雨が降れば雨水が流れ出て行かないか

傘を差しながら小堀の水の流れ見る隣境には囲い木の枝が伸びる範囲に植えて考えて

隣同士で行事が有れば気遣い・手伝いをしました

家内では釜の飯を分け合い

大皿の料理は皆んなで挟み合い

美味しい食卓で家族の近況を語り汗を流して働く姿同士がご苦労様と言える人に

「人」は支え合う事

「聞く」は隣同士が耳を傾ける事

支えて頂き有り難うございますと言える人に

心から語らえる隣同士の世代を求め

一滴の水が大きな池に波を打つ輪の様に

議会報編集特別委員会

委員 佐々木 茂 夫